



★3月部会は鹿ヶ谷基地の里山のコバノミツバツツジなど木々芽吹く季節になる中、クラフト部材の製作と間伐材の製材を行いました。昨年8月の山本地区の土石流災害対策として、鹿ヶ谷基地の近くに砂防堰堤を設ける計画が実施されることになりました。クラフト部の活動が制約される様ですが、なんとか立ち退きまでは至らず部員一同安堵しております。NPO法人みどり会様が間伐され、砂防堰堤予定工事場所に集積している杉丸太材の片付けを兼ねて貰い受けして丸太の製材と、「もりメイトキッズ」松ヶ原の環研部会活動により伐倒したリョウブの材を鹿ヶ谷作業基地に運搬し、じっくりと乾燥させクラフト材として活用する活動を行いました。4月は部員の好みによる・F1クラフト・鋏の柄・まな板・丸太の製材など行う予定です。木工趣味の部員の皆様一度覗いてください。電動カンナ機、電動鋸、ボール盤など道具は完備しております。



磯貝さん・本廣さん指導のもと丸太の製材の様子(佐藤・高杉)



F1製作に夢中の磯貝さんと試作品(右)。



里山部会を3月13日に開催しました。毎年、4月・8月に地域貢献で防火水槽に入る水路清掃・草刈りをしていますが、1月に続き今回も水路に水が流れていないのに気付き、比較的元気な5名で水路開通のため山に入りました。残りの部隊は、イノシシが荒らした道路の補修工事、

スクウスクウの森から持ち帰った枯れ松で作ったテーブルの補修を行い、午前中で作業終了。

いつもより、早目の食事時間でしたが、いろいろな話で盛り上がり、比較的ゆったりとした時間を過ごすことができました。また、宮本さん提供の蒲刈島の紅八朔を食後にいただき、小川Fのオーナーの1人でもある、永野さんからお土産の大根をいただき、令和3年度の里山部会は無事終了しました。参加人員10名。今年度は、6月と令和4年2月に「広島県まん延防止等重点措置」がとられたため、2度に渡り自粛中止と致しましたが、10回の部会開催で延べ155名の参加があり、事故・怪我もなく無事に終わることができました事に感謝申し上げます。来年度も、引き続き里山部会をよろしくお願い致します。

妙國寺本堂屋根一部修復について

妙國寺住職 斯波徹真



『屋根瓦崩落事故が予見される状況を見逃すわけにいかず、多方面から種々の議論を尽くした結果、寺屋根専門業者（広島県内ではこの一社のみ、広島別院の推薦や狩留家の順正寺、向原の長圓寺、等の葺き替え工事実績あり）から見積もりを提示いただき工事を実施することに決めました。工事の進捗状況はフェイスブック『TooruSiba』・ツイッター『拯済の森』で随時配信いたします。』

たぐいまれな本堂の屋根修復見学の機会です。里山部会の活動日に合わせ4月10日に実施されます。14時から1時間程度の予定です。



次回4月10日(日)は、安佐北区白木秋山のスクウスクウの森で、ナラ枯れの処理を予定していますが、その前に、小川フィールドで、地域貢献の水路清掃・防火水槽周りの草刈りを行います。こちらは、7時50分小川フィールドの駐車場に集合、他の参加者は、スクウスクウの森の駐車場に9時集合です。また、当日は滅多に見る機会がないお寺(妙國寺)の屋根修復を見学の予定です。妙國寺ご住職からメールを頂いています。